

平成 22 年度事業報告

自 平成 22 年 4 月 1 日
至 平成 23 年 3 月 31 日

平成 22 年度は期初に定めた活動の基本方針に則り、「よき経営者をめざすものの団体」として県法人会連合会ならびに他団体との連携協調を保ち積極的に組織の充実拡充に努力してきました。

また公益法人制度改革により、地域社会貢献活動をより多く、事業内容に組み入れるよう上部団体からの指導もあり、本会、女性部会、青年部会が一体となって取り組み一定の成果を上げました。

主な活動の概要は次の通りです。

1. 組織の拡充強化

- (1) 会員増強に関しては、9 月 1 日から 12 月 31 日までの会員増強運動期間中に、本会、支部、女性部会、青年部会が一体となって取り組み、支部役員一人が一社の新会員獲得を目標に掲げ 190 社の目標を設定致しました。結果は 3 月末までに 136 社（前年度 122 社）と前年より獲得数は増加しました。深刻化する経済状況の中で、各支部役員、関係金融機関、保険会社の努力とご協力に感謝致します。新会員の加入は 136 社ありましたが、厳しい経済環境により解散、休業、退会等による脱会は 157 社（前年度 184 社）ありました。平成 23 年 3 月末は会員数 4,071 社、加入率 57.0%（前年度 57.6%）と前年度より 0.6 ポイントのマイナスとなりました。
- (2) 女性部会、青年部会は夫々役員及び委員会を基軸に本会との連携を密にして活発な事業活動が展開され会員相互の啓発、意識の向上が計られました。

2. 地域社会への貢献活動

(社) 岳南法人会の社会貢献事業の一環として「夏休み親子税金教室と感動映画の集いを開催しました。8 月 3 日（火）富士市文化会館ロゼシアター（中ホール）に 800 人の子供たちと保護者の皆さんが集い、盛大に開催されました。又、恒例となった「岳南法人会チャリティーコンサート」は「由紀さおり&安田祥子」の姉妹のシンガーを迎え 2 月 5 日（土）に開催し、1,300 名の方々が来場し、その美しい歌声に大満足で盛会となりました。収益金の一部と会場に設けたチャリティー募金箱の合計 450 千円を富士市、富士宮市の社会福祉協議会に寄付して善意を評価されました。

3. 研修活動の充実強化

「各種講演会」「研修会」「改正税法説明会」「速修経理実務講習会」「年末調整説明会」等を開催し、実情に応じた研修活動を進め充実強化を図りました。

また、公益法人制度改革については、特別委員会として「公益法人研究委員会」を立ち上げ、専門家を招いての研修会も開催しました。

地区協議会においても視察研修会等が積極的に開催されました。

4. 税制に関する改正の要望

税制委員会を中心に「平成 23 年度の税制改正要望事項」を取りまとめ、法人税（軽減税率を含む）の引下げと事業承継税制の確立を最重要課題として県連、全法連を通じ関係方面に強く要望するとともに、地方自治体首長、議会議長にも陳情を行いました。

5. 広報活動の充実

会報を年 2 回発行して情報を提供するとともに、誌面の内容充実に向けて努力する一方、地元コミュニティ放送局とも連携を取り法人会を広く P・R しました。又、各種資料、参考図書の配布ならびに税の啓発用漫画本を広く配布し、活動の充実を図りました。

6. 福利厚生制度の推進

会員の福利厚生のため全法連推進の各種保険制度は、会員の事業の安定継続と福利厚生の役割を果たしているため、保険会社と連携を密にして一層の普及推進に努めました。

7. 平成 22 年度の事業の実績は次の通りです。